

洋友滋賀総会特集号

会員数 271人(平成29年6月現在)

=平成29年度基本方針=

**人や社会との絆を深め、豊かで楽しい生活を
お手伝いする洋友会**

平成29年6月 Vol.52

洋友滋賀

三洋電機洋友会滋賀地区
大津市瀬田1-1-1

電話 077-543-5601

発行人 田中国夫

編集人 森 幸一 池上浅夫



懇親会 出席者99名

平成29年度

洋友会滋賀地区総会開催



総会 出席者92名

**元気で楽しい洋友会を目指し、
より多くの会員の参加をお願いします**

**来年は洋友会設立30
周年記念総会**

会長 田中國夫



平成29年度洋友会滋賀地区総会が4月18日(火)、「ピアザ淡海の県民交流センター」にて、会員92名のご出席を頂き開催されました。

森幸一議長進行のもと、各役員より平成28年度の「会務報告」及び「会計報告と会計監査報告」に続き、平成29年度の「活動方針」及び「会計予算案」の説明があり、それぞれ原案通り承認されました。

洋友会も平成元年設立以来、来年度は30周年記念を迎えます。これもひとえに会社のご支援と諸先輩方のおかげと感謝申し上げます。洋友会滋賀地区も会員数が5年前の平成24年3月末で300名(平均年齢71・4歳)、平成29年3月末現在271名(平均年齢75・5歳)となり、29名減少して

おります。このうえは、会員皆さんと共に健康寿命をおおいにのばし「元気で楽しい洋友会」を目指したいと思います。

平成28年度は参加率60%を目指しましたが、昨年同様58・8%となりました。その中で80歳以上の方々は58%近い参加をいただいています。

平成29年度は「人や社会との絆を深め、豊かで楽しい生活をお手伝いする洋友会」を基本方針とし、「より多くのの人に、より楽しんでいただく」参加率60%以上を目指します。

総会の後、新しい試みとして滋賀県警と大津警察署のご協力による「高齢者の交通安全」についての講習会を開催しました。

午後の懇親会には過去最高の99名の参加を頂きました。来年度の「洋友会設立30周年記念総会」は、平成30年4月10日(火)に予定しております。会員の皆様におかれましては、万障繰り合わせの上、是非ご出席いただきませうようお願い申し上げます。

平成28年(1~12月)の年齢層別年間行事参加状況
(在籍数：12月末現在人数)

	64歳以下	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80歳以上	計
在籍者数	5	41	67	93	71	277
参加者数	5	32	34	51	41	163
参加率(%)	100.0	78.0	50.7	54.8	57.7	58.8



会計監査報告
平岩 誠忠氏



会計報告
川崎 修一氏



総合司会
倉世古 隆生氏



議長
森 幸一氏



新任幹事 森 幸一
昨年15年ぶりに帰国し、日本での生活に馴染むべく、先輩諸氏からの要望により、幹事の任を受けさせていただきます。いきなり編集員の大役を任せられ戸惑っております。魅力ある洋友会作りを努めたいと思っておりますのでよろしくお願致します。

- | | | | | | |
|----|--|--|--------|-------------|--------|
| 顧問 | 会
計
監
査 | 幹
事 | 会
計 | 副
会
長 | 会
長 |
| 前田 | 原田 森岡 平岩 森崎 山崎 本郷 近澤 滝本 塩見 佐々木 国枝 川西 片山 片岡 池上 網谷 上田 川崎 横井 倉世古 藤田 船田 田中 | 雅彦 潔勝 誠忠 幸一 幸子 喜代子 正博 忠男 孝雄 栄一 美佐子 安広 一男 耕作 浅夫 洋子 敏雄 修一 敏幸 隆生 三男 順久 國夫 | | | |

平成29年度役員

長寿祝い



本年度は「米寿」1名、「喜寿」23名、計24名の方々が長寿祝いを受けられました。

喜寿

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 望月 政則 | 今西 正和 | 武田 三郎 |
| 森 直由 | 片上 浩明 | 池田 保孝 |
| 羽野 晴男 | 井上 博 | 松田 文男 |
| 澤 昭夫 | 八木 興 | 寺田 守朗 |
| 相原 英則 | 山田 章 | 堀井 喜代治 |
| 中島 進 | 森岡 勝 | 前田 三郎 |
| 田中 清 | 中谷 忠男 | (敬称略) |



ご長寿おめでとうございます！

米寿を迎えて

望月 政則

自分の身体は医者任せにせず自分で守り、趣味を活かし出来るだけ体を動かす！

このたびは「米寿祝い」の栄に浴し、ありがたく厚く感謝する次第であります。さて自慢話ともなり恐縮ですが、85才の時に胆のうの摘出という大手術を経験した私、八八才までも生きられたことこそ最も誇れる事実と考えています。



更に今年2月1日付で運転免許も更新しました。今後の生活に役立てて行くつもりです。

次に私がいつも考え実行している事を述べてみます。それは、自分の体は医者任せにせず自分で守るとの考え方で過ごしてきた点です。その為には、何事にも結果には必ず原因があるとの考えで取り組んで参りました。

金婚祝い



結婚50周年記念

本年めでたく「金婚式」を迎えられる方々は次の19名です。

- | | |
|-------|-------|
| 三田 達雄 | 福島 正勝 |
| 八木 興 | 脇 康三 |
| 片上 浩明 | 服部 為男 |
| 堀井 喜三 | 松田 文男 |
| 足立 晋一 | 川津 良治 |
| 澤 昭夫 | 田中 政孝 |
| 築山 武次 | 薮内 儀唯 |
| 大崎 三蔵 | 田中 常夫 |
| 山田 章 | 佐野 孝 |
| 堀江 一範 | (敬称略) |

金婚式を迎えて

福島 正勝

家庭とは「心の安らぎ」妻の苦勞に感謝！

現在72歳。年若くして結婚したため、この歳で結婚50年とは感慨深いものがある。姫路から上阪し会社の寮に入っ



(H28年11月淡路夢舞台にて)

を離れ祖父に育てられた私にとって、家庭が欲しくて22歳で結婚。祖父から結婚するな(お尻と胸の大きな人を貰え(安産系))と言われていたので、まさに彼女はその通りの人。幸い3人の子供にも恵まれ感謝の人生を送ることができた。

当時の風潮として『男は会社第一』家庭は女房にまかせつきり。今から思うと申し訳ないことをしたと思う。本社の部長から、「洗濯機のデザインは君に任じたぞ」と言われたこともあって、「デザインが悪かったので売れなかった」とは言わせないぞ」と毎日が必死であった。

私は元来寡黙なほうなので、フランク永井の歌ではないが「そばにいてくれるだけでいい」そんな人である。家庭とは『心の安らぎ』。今もその

思いは変わらない。ただ一つ言わせて欲しい。お尻が大きいという事は、俗にいう『尻が重い』と言うことに繋がることを。私ほどちらかという気短ですぐ実行するタイプ。元来おっとりしたタイプの彼女でちようど釣り合っているのかもしれないけど、私に言わせればフットワークを軽くしろ！だ。でも彼女はそんなことには一向にお構いなし、マイペースを崩さない。まあこのまま行くか！昨年人間ドックで『食道がん』が見つかった。幸いレベル1と早期発見で済んだので事なきを得、現在も元気に暮らしている。入院などしたことはない私にとっての治療生活はこの先どうなるのかと思わせた。(次ページに続く)

平成28年中の交通事故死者(53人)



死者の約半数が65歳以上の高齢者の方です。

65歳以上の高齢死者(26人)の内訳



総会終了後高齢者交通安全講座が開催されました。滋賀県警、大津警察署の婦警さんのコントも交えた説明で楽しく真剣に受講しました。

高齢者交通安全講座開催

私の好きな言葉に『莫妄想』という禅語があります。『起りもしないことをあれやこれやと悩み行動を起せないことの愚かさを戒める言葉』である。言い換えれば『なるようになるさ、さあ行こう』である。これからは何があるかもしれないけれど、夫婦手を取り合って生きていきたいと考えている。

平成28年度全国交通事故死者は3904人、65歳以上の高齢者が54.8%占めています。滋賀県では若干低く26人、49%となっています。最近では車の運転ミスによる事故がクローズアップされていますが、歩行中7人、自転車運転中5人、二輪車運転中7人と自動車運転中以外でも注意が必要です。老いと共に運動能力、反射神経は確実に低下しています。普段は問題が無くても、咄嗟の際の対応力が鈍っている為、過信は命取りに繋がります。「事故を起こさない」「事故にあわない」交通安全の徹底や危険予想をみずえた予防運転等で、明るく元気な後期高齢者を続けたものです。

編集後記
本年度から片岡耕作幹事から編集委員を引き継ぎました。池上浅夫幹事と二人で少しでもお役にたてる情報誌を目指して参ります。今回初めて原稿を作成しました。読みづらい箇所が多々あったと思います。お気付きの点、今後希望される内容等ご意見、ご要望お待ちしております。片岡幹事お疲れ様でした。(森記)



自転車の事故を防ぐには...

自宅近くの身近な道路こそ危険がいっぱい!

注意! 「通り慣れた道路だから...」は危険!

いつも車はないからと安全確認をおろそかにしてはいけません。通り慣れた道路こそ危険は潜んでいます。安全確認を確実に!

注意! 信号のない交差点が危険!

交差点に一時停止の標識がある場合はもちろん、標識がない場合でも、必ず停止して安全確認をしましょう。「止まる」「見る」「待つ」

滋賀県では自転車に乗る全ての人が対象です!
【滋賀県自転車条例】平成28年2月26日施行
★自転車損害賠償保険の加入が義務化!
★高齢者のヘルメット着用! ~頭部を守ることが命を守る~
★自転車の点検整備および防犯対策(防犯登録、施設)

自動車の事故を防ぐには...

危険を予測してゆとりある運転を!

注意! 「かもしれない」運転を実践!

「子どもか飛び出してくるかもしれない」などと危険を予測して余裕のある運転をしましょう。「走り慣れた道だから大丈夫」の油断が危険です。

注意! 思い込みは危険! 交差点では必ず安全確認!

「止まってくれるだろう...」と安易に判断することは危険です。必ず自分の目で安全確認をしましょう。

高齢運転者標識(高齢者マーク)を付けましょう!
70歳以上の運転者が普通自動車を運転するときは、高齢運転者マーク(標識)を車体の前面と後面の所定の位置につけて運転するように努めなければなりません。

歩行中の事故を防ぐには...

高齢者の歩行者事故の大半は、自宅周辺の身近な道路で発生!!

注意! 斜め横断は危険!

道路を斜めに横断すると、車道にいる時間が長くなり事故にあう確率が高くなります。少し遠くでも横断歩道を渡りましょう。

注意! 車が少しでも見えたら横断しない!

車が遠くに見えていても、車はすぐにやってきます。車が少しでも見えたら横断しないで通り過ぎるのを待ち、もう一度、安全確認をして横断しましょう。

「まだ大丈夫...」ではなく、「もう危ない!」
高齢歩行者が1秒間に進む距離は、約1m。時速60kmの車は、1秒間に約17m進みます。高齢歩行者が6mの道路を横断中に時速60kmの車は約102m先からやってくるのです。